

## 中京大学の思い出

第2代体育学部長

佐々木 等

中京大学では私は忙がしかったせいあまり力が入らなかった。その理由は文部省の体育研究所やお茶の水女子大学に関係していたためによるものと思うが、多少思い違いがあるかもしれない。

体操の大谷氏と競技の野口氏は共に斃れ、団体遊戯の研究に関係した私が東京高師に入ったおかげで健在である。しかし、現在木村君や藤松君と関係している大滝君とは八事でお会いしたことはない。彼とは東京高師で会ったわけである。それよりも富藤兼吉君という佐渡から来た人で素晴らしい良い声をもっており、佐渡おけさを美声で唄う時は魅了したものでしたが、彼は病を経て他界された思い出がある。徳島の山本芳松君や後に青井丹弘となった高橋氏という剣道の達人もおった。彼と私共は東京高師の体育科の甲組にいたとはいえ、体操、陸上競技の他、剣道とか柔道を修業したものでした。従ってこれを丙組といった。現在東京には青井君と同組の坂本秀弘というのがいるが、最近坂本の方が多少弱っているとかいうことらしい。私は現在も健康なので中京大学の理事長さんの梅村さんは良いところに眼をつけられたものと思う。然かも奥さんは日本代表選手として活躍されたスミ子夫人であったが、よく陸上競技の短距離を走られていたことを覚えている。

私は八事の他、豊田の方は皆目わからないが、豊田の方にも決して見捨てたものではなかった。

八事でも一人、深井一三氏という素晴らしい人物がいた。深井氏は多分日体大出の方だったと思うが、彼は私のよくわかった人で、どうしても彼を見逃すわけにはいかなかった。彼は特に人ざわりの良い点では他の誰よりも優っていた。人間はこのことが大切なのであって、人との交際が良くなければならないが彼にはこの点が抜ん出ているように思う。とくにスポーツに優秀な方はゴツゴツして他との交際が良くいかないものなのに彼にはそうした点が少ないようであった。いや彼にはむしろ美点をさえ感ずる位なのであった。こうした方が八事の人々の仲間入りとしてはむしろこの人にあずかった方がよいように思った。それは理想主義によるものかもわからないが、やっぱりその方が八事の人々の良いことだと思った。

最近徳島県でアワ踊りが盛んに行なわれているが、昔はアワ踊りは聞いてはいるものの実際にみたことがなかった。最近直にそれに触れることができる。やっぱり踊りのようなものを直に行なってみてよいところを知ることはよいように思う。これは今の世界のよさだと思う。

中京大学の20周年の記念として行なわれるならば理想主義を貫くことも亦よいかとも思う。